



古中だより「坂道」

＜くめざす生徒像＞

(知) 自ら学ぶ生徒

(徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒

(体) 心身ともに健康な生徒

令和7年度 第38号

11月20日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 大高 文雄

明日は「(後期) 中間テスト」

早いもので、長かった2学期も残り1ヶ月となりました。特に10月中旬の玲瓏祭(文化祭)が終わってからは、時間が過ぎるのが一気に早くなった気がします。

10月に前期学習評価&通知表の配付や後期の時間割がスタートし、前期分が一度リセットされ、後期の学習がスタートし、子ども達も張り切って授業に臨みました。その学習の理解度や成果を自分で確認したり、振り返ったりするのが定期テストとなります。各学年から2週間前にテスト範囲表と計画表を配付されたので、各自、計画的に学習を進めてきたと思いますが、2学期の学習のまとめとして、しっかり取り組んでほしいと思います。

ご家庭においても、お子さんに励ましのお声かけをお願いいたします。

「立て看板コンクール」優秀賞！



石川地区交通安全表彰大会

18日(火)の午後は、石川町にて、「令和7年度石川地区交通安全表彰大会」が行われました。その中で、例年実施されている「立て看板コンクール」の表彰もありました。

本校では、総合文化部の生徒が担当し、毎年参加しています。今年度は、2年生が制作し、「優秀賞」をいただきました。来年度も立派な作品を制作して、作品を通して、交通安全の啓蒙活動に協力してほしいと思います。



いと思います。これだけでも、地域住民の一員として、立派に社会貢献していると思います。

「おにぎり給食」

昨日は、今年度に入って3回目の「おにぎり給食」の日でした。おにぎり片手に、おいしいおかずと一緒に給食の時間を楽しく過ごしました。

おにぎり給食は、食育の一環として行っています。平日に親子でお弁当を作るのは時間的なところを含めて難しいところがありますが、おにぎりなら親子で一緒に作ることが可能であると考え実施されています。

食習慣や食生活の変化の要因はいくつかありますが、個人的には「家族構成の変化」や「食の多様化」(洋食文化やスーパーなどにある豊富な食材・惣菜、外食産業の発展)なのかなと感じます。三世代家族(祖父母・父母・子ども)から核家族化や単身世帯の増加により、ご飯と野菜中心の手の込んだ和食が少なくなりました。情報化社会の今では、インターネット上に簡単レシピやアレンジ・レシピ、時短料理などがアップされ、人気のようです。【ひと昔前は、「おにぎらず」が流行りました。】

平成17年に食育基本法が、平成18年に食育推進基本計画が制定され、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校においても積極的に食育に取り組むようになっていきます。

食育を通して、子ども達に身につけさせたいことは次のようなものです。この機会に是非、食について親子で話し合うのも良いかと思います。

- ※ ①食を物を大事にする感謝の心を持つこと、②好き嫌いなく栄養のバランスを考えてよく食すること、③食事のマナーなどの社会性を身につけること、④食事の重要性を理解し心身の健康を保持すること、⑤安全や品質など、食品を適切に選択する能力を身につけること、⑥地域の産物や歴史などの食文化を理解すること、など。